

# 東京言語研究所

## 特別集中講義のご案内

東京言語研究所では、言語学の研究者の方々ならびに言語学に興味をお持ちの方々を対象に〔理論言語学講座〕をはじめとして様々な講座を開設しておりますが、昨年好評をいただいた「特別集中講義」を今年度も開催することになりました。〈特別集中講義〉は、多様な研究領域に関して、より多くの方々の受講が可能な条件を勘案し企画しております。ぜひご参加ください。

〈演題〉:「対照研究の思考法」

〈講師〉:井上 優 氏 [麗澤大学外国語学部・大学院言語教育研究科教授]

〈日時〉2012年 3月 17日(土) 13:00~18:20

18日(日) 10:30~16:20

〈会場〉東京言語研究所 (新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル13階)

〈参加費〉 一般 12,000 円

学生・大学院生・2011 年度理論言語学講座受講生 9,000 円

〈申込み〉メールまたは FAX にて下記をご連絡下さい。(定数:先着50名)

①特別集中講義受講希望 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス

⑥区分(会社員・教職員・大学院生・大学生・その他)

※ この情報は受講手続きにのみ使用いたします。

講師紹介: 1962 年生まれ。現在,麗澤大学外国語学部・大学院言語教育研究科教授。  
専門は日本語文法,文法の対照研究。論文・著書に『日本語文法のしくみ』(研究社,2002 年),  
『シリーズ方言学2 方言の文法』(共著,岩波書店,2006 年),「テンス・アスペクトの比較対照  
—日本語・朝鮮語・中国語—」(共著,『シリーズ 言語科学4 対照言語学』,東京大学出版会,  
2002 年)などがある。

### ○ 問合せ先

東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420 FAX:03-5324-3427

E-mail:[info@tokyo-gengo.gr.jp](mailto:info@tokyo-gengo.gr.jp) ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

## <講義内容>

言語の対照研究は、複数の言語を「比べて考える」ことを通じて、各言語の特性を具体的な形でとらえ、各言語を公平に見る（各言語の特性を相対化する）一般的な観点を見出す研究です。対照研究には、個別言語について深く考える個別言語研究、世界の言語を広く見渡して言語の普遍性と多様性について考える通言語的研究とは、一味違った魅力があります。本講義では、日本語と中国語、日本語と韓国語の文法の対照研究を例にあげながら、言語の対照研究の魅力について述べたいと思います。

対照研究には決まった研究の手順があるわけではありませんが、言語を公平に見る観点を見出すコツのようなものはあるように思います。本講義ではそのコツについても考えます。とりあげるトピックは主にテンス・アスペクト・モダリティです。全体を通して、「現象どうしを関連づけて考える」こと、「具体的なイメージのもとで考える」ことの重要性について述べたいと思っています。

中国語・韓国語に関する知識は特に必要ありません。

### 講義内容（予定）

- 1 なぜ対照するのか
- 2 対照研究に必要なセンスとわりきり方
- 3 対照研究のコツ（１）：最大限同じと見る
- 4 対照研究のコツ（２）：できるだけ具体的にイメージする
- 5 事例研究（１）：日本語と韓国語のテンス・アスペクト
- 6 事例研究（２）：テンスの有無と文法現象－日本語と中国語－

### 講義時間（予定）

17日（土）		18日（日）	
13：00	開講式	10：30	講義一4
13：10	講義一1	12：00	講義一4終了 休憩 昼食
14：40	講義一1終了 休憩	13：00	講義一5
15：00	講義一2	14：30	講義一5終了 休憩
16：30	講義一2終了 休憩	14：50	講義一6
16：50	講義一3	16：20	講義一6終了
18：20	講義一3終了		